

# 金森興業 水素ガス切断能力増強

## 切板品質向上、SDGS推進

厚板・鋼管・特殊鋼加工販売大手の金森興業（本社・東京都江東区亀戸、社長・岩谷俊彦氏）は、燃料ガスに水素を使用した厚板切断能力を増強した。中核拠点の千葉工場に、水素切断用のNCガス溶断機を1台増設。プロパンよりも高速・高品位で現場オペレータの作業負担軽減と作業環境改善にも寄与するほか、CO<sub>2</sub>排出も抑制し環境配慮にもつながる。これらメリットをさらに高めるため、新設した溶断機には先穴あけドリルも装備した。

同社は数年前から本格的に水素ガス切断に着手。試行錯誤を重ねて軌道に乗せ、直近では千葉工場（山武郡芝山町）で手掛ける切板加工のうち、ベース厚を中心し月産約100トを水素で切断する。水素は火災集中性が高いのでプロパンやアセチレンといった一般格的に燃料ガスに比べての向上、省力（人）化の貢献することから、同社でも地球環境への配慮につながるSDGS（持続可能な開発目標）活動の一環と捉える。

今回、水素ガス切断用として新たにガス溶断機KT-650G（約3300万円）の値上げとなった。

台湾・中国鋼鉄（CSC）はこのほど、3月単月の国内販売価格を発表し、全品種値上げした。熱延コイルなどで800台湾元（約3300円）の値上げとなった。

### 台湾CSCの3月単月国内販売価格全品種値上げ

台湾・中国鋼鉄（CSC）はこのほど、3月単月の国内販売価格を発表し、全品種値上げした。熱延コイルなどで800台湾元（約3300円）の値上げとなった。

### JFEホールディングス21年度版「DXレポート」発行

JFEホールディングスは18日、デジタル戦略やその具体事例をまとめた2021年度版の「DXレポート」を発行した。今年度版では、JFEホールディングスが推進する「DXレポート」をまとめた2021年度版の「DXレポート」を発行した。

も装備し、火災を使わずに高速かつ精度よく安全にピアシング孔を開けられるので生産リードタイム短縮や作業環境改善につながる。調整・試運転、オペレータ教育を終え、本格操業体制に入った。水素ガスで切断した切板製品は、その特性から特に細幅長尺品や複雑形状品などに効果を発揮することから、意匠性の高い建築物や機械部品の受注窓口（県坂東市）でも開先加工で実績と評価を重ねる。水素ガス切断は、



**平鋼7.0m定尺販売開始**  
平鋼・角鋼・広幅平鋼  
西村鋼業株式会社  
047(352)3181 (総機) 0276(56)2460 (北関東支店) 0467(78)0211 (神奈川支店) 0223(29)2460 (東北支店)  
http://www.nishimura-kogyo.co.jp/

水素切断用NCガス溶断機が並ぶ（手前が新設した「KT-650GD」）①、先穴あけ用ドリル装置付き（写真右）

### 大河内賞の受賞概要

生産工学分野の顕著な技術成果を表彰する2021年度大河内賞（大河内記念会主催）に選ばれたことを受け、日本製鉄とJFEスチールはそれぞれ18日、自社の受賞技術の概要を発表した。

### 日本製鉄 熱延ミルの圧延制御高度化

### JFE 高耐震性厚板「HBL」を開発

日本製鉄は事業体区分で次点の「大河内記念生産賞」を受賞した。自動車用ハイテン（高張力鋼板）をはじめとする高機能鋼の生産性向上を目的に、熱延ミルで新たな計測器を活用した圧延制御技術を開発した。改善に限界があった。日鉄・東日本製鉄所京浜地区主製制御技術などを駆使する任部員、大森章夫厚板セクことで、高い溶接性を確保するため、高温で振動や大量の冷却水も伴う過酷な環境に耐えるべく、超高温ヒルを支えるため、高耐震性を確保した。建設センター主任部員、藤原柱として十分な溶接部の強度を確保した。表彰を受ける。

## 関東データースチール 鉄棒鋼販売価格10万3000円に5000円上げ

合同製鉄と朝日工業 崎見生合同製鉄専務取締役による鉄棒鋼の共同販売価格は先週17日から販売会社、関東データースチール（社長・山本トシ）10万3千円に引き上げた。上げ幅は5千円。主原料である鉄スチール価格が急伸しているほか、合

### 日鉄エンジニアリングCO<sub>2</sub>排出年2700ト削減

日鉄エンジニアリング（社長・石俣行人氏）は18日、大分市上下水道局から「大分市上下水道局から「大分市上下水道局から「大分市上下水道局から」を受注したと発表した。同社は代表とする企業グループが下水汚泥固形燃料化施設の建設・設



完成予想図

大分市上下水道局から「大分市上下水道局から」を受注したと発表した。同社は代表とする企業グループが下水汚泥固形燃料化施設の建設・設

金鉄や電気料金など幅広いコスト高もあり、再生産可能な販売の実現には早急な値上げが必要と判断した。鉄スクラップ市況は海外からの引き合いが強まり、2月中旬に急伸。足元のメーカー買値は昨年10月末の直近高値を上回り、2008年以来13年半ぶりの高値に切り上がっている。その他コストの全て